



knowledge
mobility
system

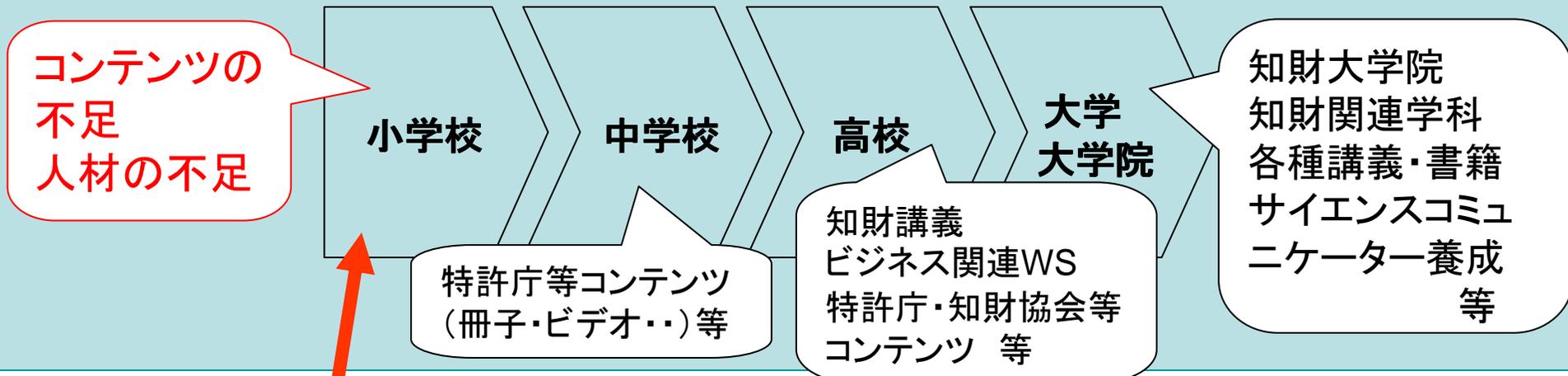
KMS 2008 活動報告

発表者 にしむら(あねご)ゆきこ

* 本日まるは結婚式参加という名前の
婚活です(うそ)

KMSは知財・科学技術の絵本をつかって、社会に広めています

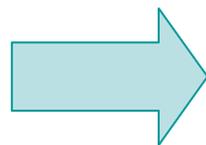
知財教育・啓蒙活動の現状



ターゲット：
小学生
小学校教諭
小学生保護者

- 早期からの発明・知財啓蒙教育
- 知財啓蒙教育のコンテンツの充実 の必要性
- 知財関連人材不足の問題等の解消

KMS



知財・科学技術絵本を作成し
「読み聞かせ」という手法を用い、
全国小学校にて知財啓蒙活動を実施



knowledge
mobility
system

絵本作成・啓発の目的

絵本を通じて「特許」に対する知識を正しく得つつ、
「はつめい・はっけん」への興味を養う

「知財絵本読み聞かせ」とワークショップの実施
本絵本の初等教育における効果の検証

義務教育課程に組み込める知財教育の実践

総合学習時間、もしくは理科の時間の中で「科学(理科)実験」と「知財絵本
読み聞かせ」とを合わせた教育プログラムの実施



knowledge
mobility
system

KMSの軌跡

オーガナイザー

西村



メンバー

・学生
・社会人
・企業経営者
・主婦・
(MLメンバー
35名)

丸



2002年4月20日 smipsの分科会として発足
その後、月に一度のMeetingを基に、各種活動を開始
2002年秋～ 知財絵本製作開始
2003年 日本知財学会口頭発表(丸)
2003～ 日産科学振興財団助成金獲得
2004～ 日産科学振興財団助成金獲得
2005年3月 KMS絵本1, 2巻発売
2005～ 各地域小学校にて読み聞かせ・WS活動開始
2005～ 日産科学振興財団助成金獲得
2005～ 子どもゆめ基金助成金獲得
2006～ JST SPP助成金獲得
2006年 日本知財学会口頭発表(若尾)
2006～ 読み聞かせと理科実験組み合わせ活動開始
2007年 東京大学先端研と(株)リバネス 共同研究開始(科学
技術・知財初等啓蒙活動の実践)
2007年6月 日本知財学会口頭発表(西山)
2008年3月 KMS絵本3巻発売
2008年6月 日本知財学会口頭発表(村松)
2008年度 英語版(ドラフト)作成、
USPTO/WIPO関係者と意見交換実施
そのほか、各種講演等あり



knowledge
mobility
system

2008年度のKMS

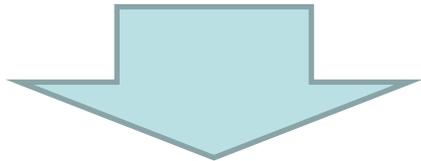
- できたこと
 - 効果測定を開始
 - さまざまな形式のワークショップ・講義開催
 - 絵本の英訳版
 - AUTMでSmipsを紹介
- できなかったこと
 - 絵本作成(涙)
 - 特許庁との連携
 - KMSでの飲み会



knowledge
mobility
system

小学校における 知財絵本の教育効果の検証

- 2008年2月にデモ実施
- 事前調査(読み聞かせの前日)
 - 1)知財についての既知率, 2)知財についてのイメージ, 3)知財に対する意識の3点を調査(5件法)
- 事後調査(読み聞かせ直後)3)知財に対する意識の他に, 本への興味等5項目を聞き, 読み聞かせの感想を自由記述で回答
- 「全く思わない」から「かなり思う」の5件法を1から5まで得点化し, 平均値を求めた。事前と事後は, 平均値の差を求めると共にt検定を実施



- 「発明への関心」については, 各学年共に一定の効果があった
- 知財絵本は, どの学年でも児童の興味を引き付けることが可能。
一方で、内容の理解を考慮すると, 高学年の方が望ましい

「小学校における知財絵本読み聞かせの教育効果」

(信州大学 教育学部) 村松浩幸・西村由希子他、(日本知財学会、2008)

→その後継続的に効果測定を実施



knowledge
mobility
system

ワークショップ開催

- 5月 理科実験教室（先端研オープンキャンパス）
児童100名、保護者120名参加
- 8月 神奈川サイエンスパーク（川崎市イベント）
児童・保護者35名参加
- 12月 沖縄児童会館(二つ)（沖縄TLO様ご紹介）
児童・保護者計50名参加



knowledge
mobility
system

実際の絵本読み聞かせ風景

- 2008年12月5日 沖縄県那覇市(2か所)にて実施

ビデオあり





knowledge
mobility
system

英語版作成

1、2巻英語版作成(がんばりました・・(涙))

WIPO(高木氏)を通じてUK・シンガポール特許庁関係者らと会合(08年7月～)

USPTO・フェデラルサーキットにて会合(08年10月～)

AUTMにてブース展示

→複数の大学からコンタクトあり

09年度中に、Websiteからの無料DLを目指す
(英語版のみ)

同じく09年度中に、中国語版作成

→持参して活動(すでにコンタクトあり)



Alanさん ↑
(現在シカゴ)



knowledge
mobility
system

できなかったこと、の できなかった理由

- オーガナイザーをはじめとしたメンバーのありえない多忙さ
(丸と西村がそもそも都内(国内)にいない…)
- 「知財の絵本」と「科学技術の絵本」の
違い そして難しさ
→作者がさらにきちんと宇宙を知らないといけない
→メンバーとつくる喜びを共有できていない！でもしたい！
- 継続開催の難しさ
(2名もいるのに分科会開催できない月がでてしまった…すみません)
- 特許庁で2度講義を依頼され実施
→その後連携提案を持ちかけたが……

来年度はこれではいけない！！！！



knowledge
mobility
system

今後の展望(連携)

- 1) 知財・特許知識を習得・理解した人材による読み聞かせ
 - ・現在の読み聞かせ人材
 - ・小学校等の教諭(知財知識は有していないが教育経験が豊富)
 - ・知財人材(知財知識を有しているが教育経験は不足)
 - ・保護者等一般(知財知識・教育経験はともに不足しているが、情熱はある)
 - 知財人材が豊富な首都圏以外での知財・特許知識を有する裾野人材の増加

- 2) 義務教育科目とのスムーズな連携
 - 義務教育と連携したプログラムの検討開始

- 3) 教諭らに対するITリテラシ教育との連携に関する理解度向上
 - E-LearningといったFace-to-face以外での教育手法の模索



knowledge
mobility
system

来年度の決意

絵本をつくります！

絵本をつくります！

絵本をつくります！

絵本をつくります！

絵本をつくります！

絵本をつくります！

絵本をつくります！

絵本をつくります！

絵本をつくります！

プラス 少し丸と仕掛けを考えています・・・乞うご期待



knowledge
mobility
system

これからもがんばります。

是非、一緒に「ものづくり」を
楽しんでください。
仲間は継続して募集中です！

KMS分科会メンバー 一同